

議会だより

No. 77

令和2年2月

のせ



第4回能勢中学校かけやきマラソン

公共施設の再編整備事業を含む
補正予算可決

議会改革特別委員会の設置

令和元年能勢町議会11月会議報告

11月会議には、補正予算1件、人事案件1件、契約案件1件、議会議案1件が提出されました。賛否が分かれた案件は3件で、その他の案件は、全員賛成により可決、同意されました。

◇令和元年度能勢町一般会計補正予算(第3号)

補正額 15億4800万円

(主なもの)

・公共施設再編整備事業 (新庁舎整備費用) 10億2500万円
・消防庁舎整備事業 5億2300万円

(繰越明許費)※1

・公共施設再編整備事業 (変更) (変更後)11億8340万円
・消防庁舎整備事業 (追加) 5億2300万円

◇能勢町一般会計補正予算(第3号)の予算常任委員会への付託審議を求める動議について

賛 否

否決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
×	×	○	退席	○	×	×	×	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

提案説明 中植 昭彦

今回の一般会計補正予算は公共施設再編整備事業費(庁舎、消防庁舎)15億4800万円が追加され、総額67億9625万円の予算となっている。

15億円にも及ぶ補正予算案であり財政状況の厳しい中、財政破綻を心配する町民の声がある。令和8年度には財政破綻を示す指数が示された。答弁は、人件費、経常経費の削減、公の施設の集約などの合わせ技で8年度破綻を先延ばししていく。組織の縮小で対応するとあった。このような状況で、住民サービスの著しい低下、その先にある財政破綻を危惧する必要はないのか。今後、総事業費予算の増額等はないのか。財政見通しを示し、町民が将来に不安を持つことがないように、新設された予算を専門的に調査、審査する予算常任委員会への付託を求めるもの。

【反対討論】平田 要

公共施設再編整備事業については、平成30年12月議会で施設再編整備に係るスケジュール及び概算工事費などが示されている。併せてこれに係る一般会計補正予算も上程され可決をしている。以降、平成31年3月議会においても再編整備事業を含む平成31年度一般会計予算が審議され、6月の全員協議会、8月の議員懇談会でも説明を受けている。11月議会提出の一般会計補正予算は継続予算であり、本会議で審議するものとして議会運営委員会で決定されたものである。よって、議会運営委員会の組織決定を尊重し、動議に反対する。

【賛成討論】奥 久明

私は8月の予算・決算常任委員会の設置条例について議案を専門的に詳細に審議する委員会の性質上、予算常任委員会と銘打つのであれば、当初予算のみならず補正予算も含むべきと主張した。また同条例につき行政実例が理由であったが、私は地方分権一括法の住民福祉の向上として専門性を保つことが重要であると討論をした。

今回の補正予算は、当初予算約50億円の3割にも及ぶ約15億円で金額的には大きく、その内容は住民の関心が高い公共施設再編整備事業であり、専門的かつ詳細に審議するため予算常任委員会への付託が必要と考え賛成する。

【反対討論】大西 則宏

動議は議員に与えられた権利であるが、提案議員の責任において行使しなければならない。法的根拠である地方自治法に基づき設置された議会運営委員会において委員長判断により決定した内容を、本動議の提案説明のなかで否決に当たるとしたことについての明確な答弁が示されていないことから、この動議に反対する。

【賛成討論】大平 喜代江

これまで本会議、全員協議会、懇談会を経て、理解、納得できる説明がない。予算常任委員会に付託し審議を重ねた上で、住民の皆様方に公共施設再編整備事業についての説明責任を果たさねばならない。当初予算で公共施設再編整備の予算は2億円で、今回上程された追加補正予算は15億円である。新庁舎の算定面積上限の修正もあり、補正、補正と追加される予算や事前でなく本日配付された資料からも、十分な質疑・審議にかかる必要があり委員会付託に賛成する。

※1(繰越明許費):当該年度中に事業を終えることができない場合、翌年度に繰り越すことができる制度。

◇令和元年度能勢町一般会計補正予算(第3号)

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】中植 昭彦

公共施設再編整備事業について①住民サービス、町財政へどのような影響をあたえるのか、調査、検証が必要である。②学校再編事業によって廃校となった施設等、除却や利活用のための改修が必要となった場合、多額の費用負担が発生することが考えられる。③大阪府は、庁舎建替事業は、財政運営へ与える影響が大きく、長期的な視点でトータルコストを考え、理由や事業計画等を十分に説明し、合意形成を図る必要があると通達している。今一度立ち止まり、全体計画の策定、事業内容、財政負担の精査を行い、町民も一体になった、健全な行政運営を進める必要があると考え、本補正予算に反対する。

【賛成討論】長尾 義信

長期的な視点をもって、公共施設再編整備事業で整備される、本庁舎等の公共施設を現世代だけではなく、今後、将来にわたって次世代の方々にも安心して利用していただけるよう、また、将来に向けたまちづくりのために、公共施設の再整備を着実に進め、限られた財源のなか効率的な財政運営、効果的な資産運用、財政負担の軽減を図り、今後も、気を抜くことのないようしっかり取り組んでいただきたい。また、当初予算等議会において、議論をかさね、議会の意見も反映されていると考え、原案に賛成する。

【反対討論】大平 喜代江

平成30年6月の全員協議会で庁舎移転の基本コンセプト等の提示後、町の説明は中身がなく、業者作成によるイメージ図とスケジュール・概算工事費だけである。庁舎建替の必要を理解しても、人口減少、超高齢化が進む本町の現状を踏まえ、将来を見据えた移転規模や内容、財源確保等について、これまで議員、住民への説明を求めてきたが、全く今に至ってもない。基本計画も策定されていない公共施設再編整備事業については、町の目指すところを明らかにし、審議を重ねる必要がある。説明責任も果たされず、場当たり的に進められる本事業の補正予算については、到底賛成できない。

【賛成討論】平田 要

新庁舎及び新消防庁舎の実施設設計は、これまで各議員の意見等を踏まえ、今回、新築工事に係る補正予算が示された。

地球温暖化の影響を受け、近年の自然災害は想定を超える大規模な災害が各地で発生している。老朽化と未耐震の役場本館は危機管理の拠点となる庁舎としての整備、新消防庁舎は、多様な災害に対応する為の整備が求められる。

国が進める市町村役場機能緊急保全事業や緊急防災・減災事業による期限付の有利な制度を有効に活用し、財政計画の徹底に努め、住民の安心・安全を確保するために原案に賛成する。

【賛成討論】大西 則宏

公共施設再編整備については、議会において慎重に協議を重ねてきたところであり、本補正予算についても、その協議内容に基づいて上程されたものである。住民福祉のさらなる向上を図り、突然発生する大規模災害から住民の生命、財産を守るため、能勢町を未来へつないでいくためにも、住民負担の一番少ないであろうこの時期に、一刻も早く整備をすることが私たち議員の責務であると考え、本議案に賛成する。

◇公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

公平委員 北畑 利一 氏

◇請負契約の締結について

契 約 名 旧歌垣小学校再編整備に伴う擁壁及び造成工事

契 約 の 方 法 一般競争入札

契 約 金 額 87,159,600円

契 約 の 相 手 方 株式会社 福井組

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

令和元年能勢町議会12月定例会議報告

12月定例会議には、条例7件、補正予算7件、その他1件、議会提案3件の合計18件が提出されました。賛否が分かれた案件は3件で、その他の案件は、全員賛成により可決されました。
また、議会改革特別委員会の委員が選任されました。
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇令和元年度能勢町一般会計補正予算(第4号)原案※2

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

補正額 6490万円

(主なもの)

・公共施設再編整備事業費	(旧東郷保育所解体撤去工事費)	3500万円
・税制改正等システム改修費		604万円
・母子保健情報連携のシステムの改修費		315万円
・東部デイサービスセンター改修工事		220万円
・30年度災害復旧に係る土地改良区補助金		541万円
・令和元年の農地災害復旧工事		187万円
・教科書改訂	(デジタル教科書)	367万円

(繰越明許費)※1

・公共施設再編整備事業費	(今回第4号補正予算分)	3500万円
・30年道路橋梁災害復旧費	(9月補正予算分)	2900万円
・30年河川災害復旧費	(9月補正予算分)	4950万円
・PCB処分事業	(当初予算分)	77万円

◇令和元年度能勢町一般会計補正予算(第4号)に対する修正案※3

賛 否											否決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

提案説明 大平 喜代江

一般会計補正予算のうち公共施設再編整備事業費3500万円を削除する修正案を提出するものである。11月に続き、本事業の追加補正予算が上程され、ともに予算常任委員会に付託されず、本会議のみの審議である。公共施設再編整備事業の全容や財政見通しも明確な根拠に基づく説明や具体的な数字等の提示もない。本事業に関する財政見通しの質問に対し、今回も今提示できる状態にはないという答弁がなされた。修正案は、防災拠点とされる旧東郷保育所(さとおか会館)解体撤去工事費そのものに反対するものでなく、町民の不安や過重な負担がないよう、今一度立ち止まり、再編整備事業の計画や具体的な内容に関わる審議が必要であると考え修正動議を提出するに至った。

【原案賛成討論】平田 要

令和2年度末を完成目標とする公共施設再編整備事業にかかる補正予算、また平成30年度及び令和元年度の災害復旧事業費、人事院勧告に準じた給与改定、各制度改正に伴うシステム改修費等、重要予算が上程され速やかな予算執行が求められる。特に、人命のかかるところでは地球温暖化の影響により、今年も9月10月の台風15号、19号共に想定を超え東日本には大きな被害が発生している。住民の安心・安全が守られるよう、公共施設再編整備関連予算の執行により地域防災拠点整備や災害復旧工事が速やかに進められるよう、原案に賛成する。

【原案賛成討論】大西 則宏

本議案には、住民の生命を守る上で非常に重要な防災拠点整備を中心とする補正予算が計上されている。住民生活の安定、福祉の向上、住民の生命、財産を守るためにもこの補正予算を一刻も早く可決することが我々議員の責務であると考え、原案に賛成する。

【修正案賛成討論】中植 昭彦

今回の公共施設再編整備事業補正予算は、東郷地域の消防団機動隊車庫、資器材の倉庫等を建設する予算である。早急に整備することは理解するものの、財政状況について危惧するところである。機動隊車両や資器材の老朽化等、消防防災面での課題もある。財政面により消防防災機能が発揮できないことがあってはならない。11月会議では、答弁で財政見通しを示すべく検討してまいりたいとの答弁もあった。消防防災機能の包括的な計画を示し、健全な行政見通しを議会として検証するべきである。以上のことから、予算常任委員会などを能動的に使い、詳細に検証、審議するべきであり本修正案に賛成する。

【修正案賛成討論】奥 久明

公共施設再編整備事業について現在示されている総事業費は27億1424万円である。これに加え、同事業関連の備品購入費用や新施設への移転費用、残施設への対応費用も具体的には示されていない状況だと私は思う。今回の補正予算の旧東郷小学校周辺再編整備について防災拠点としての整備も必要だが、公共施設再編整備事業の全般を通して、財政面の安全性が担保される必要がある。次世代に残せる本町にするために、明確で健全な財政見通しが示される必要があり、住民に過度な負担にならないようと考え、本修正案に賛成する。

※2(原案):議論や検討にかけるために提出された最初の段階の案。

※3(修正案):原案に対し修正を加えた議案。または修正を加える意見。

◇議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

会計年度任用職員制度の導入に伴い、常勤職員の公務災害補償に係る平均給与額の規定の例によることとする規定を新たに整備するもの。

◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告により国家公務員の期末・勤勉手当が年間0.05月分引き上げられることに準じ改正を行うもの。

◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告により国家公務員の期末・勤勉手当が年間0.05月分引き上げられることに準じ改正を行うもの。

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に準じ、給料表の改定(平均0.1%)、勤勉手当の引き上げ(0.05月分)、また住居手当(支給対象家賃の下限を4,000円に、手当の上限を1,000円引き上げ)について改正を行うもの。

◇能勢町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

みなし支援員が放課後児童クラブの業務に従事できる経過措置期間を3年間延長しようとするもの。

◇能勢町下水道条例の一部を改正する条例について

下水道排水設備工事責任技術者登録が、令和2年度より大阪府下水道協会に一元化されることに伴い、所要の改正を行うもの。

◇能勢町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

指定給水装置工事事業者の指定更新に係る手数料及び再交付手数料を徴収することに伴い、所要の改正を行うもの。

◇令和元年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 374万円

(主なもの) ・地域支援事業費の増加分 340万円
 ・保険者機能強化推進交付金の増加見込みによる基金積立金の補正 9万円

◇令和元年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

補正額 50万円

(主なもの) ・緊急往診の増加に伴う報酬 45万円

◇中植昭彦議員に対する問責決議

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	退席	×	○	○	○	○	○	除斥	議長

注:議長は採決に加わりません。

【提案説明】 西河 巧

令和元年11月18日に中植議員から11月会議の録音データを貸し出してほしいと事務局に申し出があった。事務局は、会議録データを事務局のUSBメモリにコピーし、貸し出す事とした。「議会運営に関する申し合わせ事項」第7章7の規定の手続きに関わり問責決議を提出した。

※4

【反対討論】 奥 久明

問責決議の文章と中植議員の発言とで事実と食い違いがあり、この段階での問責決議提出には疑問を感じる。同決議で公開の議場における陳謝を強く求めるものについて地方自治法の懲罰事由と同内容を行わせる行為で懲罰事由の要件に比肩する事実関係が必要であり、要件として地方自治法並びに会議規則違反が必要と考える。

今回は会議録データにつき議長の許可を得なかったという申し合わせ事項の違反である。地方自治法や会議規則に違反するものではなく、懲罰事由やそれに比肩するものがないので今回の問責決議は甚だ疑問であり、反対する。

【賛成討論】 大西 則宏

議会運営に関する申し合わせ事項は、法律や規則と同様に私たち議員が活動していく上で守らなければならない重要な指針であると考えている。中植議員が、申し合わせ事項に反して会議録データを持ち出したことを遺憾に思うとともに、議会事務局職員並びに議員間の信頼関係を大きく損ねたことも非常に残念である。中植議員にその行動について猛省を促すため、この問責決議に賛成する。

【反対討論】 大平 喜代江

中植議員からの事実誤認の発言に対し説明の機会を設けることなく、議会秩序を守るための問責とする、その秩序とは何か。当該者を議場より退席させ、本人不在のまま事実確認せずに進めることはいかかなものか。私も3議員の「議会報告」チラシに関わる問題であり、中植議員個人への問責決議の動議は不当である。いわれなき問責であり、何故の個人攻撃か。3議員に事前確認や説明を求めることなく、3議員を除く議員の方々による一方的な判断や、中植議員個人への問責決議の動議は不当であり、事実誤認も甚だしい。憤りを覚えるほど問題がある、この決議案に対して反対する。

※4(「議会運営に関する申し合わせ事項」第7章7):録音テープからの再録は、議長の許可を要する。現在はカセットテープとICレコーダーで記録している。

◇土地改良事業計画の概要決定について

災害復旧工事の施工にあたり、土地改良事業計画の概要を決定するもの。

事業箇所 1か所(能勢町吉野)

事業費 1,875,000円

◇議会改革特別委員会の設置について

(目的)

能勢町議会の運営の課題解決及び住民に開かれた議会の実現、並びに今後の議会のあり方を調査、検討するため設置。

議会改革特別委員会 構成表

議会改革特別委員会 11人 (議長を除く)	◎長尾 義信	○西河 巧	森田 則子	奥 久明
	伊木 真由子	大平 喜代江	平田 要	大西 則宏
	中西 顕治	岡本 ひとし	中植 昭彦	

◎委員長

○副委員長

※委員は議席順

一般質問

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。



平田 要

民生・児童委員の活動費

問 民生委員の活動費を全額天引きとの新聞報道があった。

答 民生委員は無報酬のボランティアであるが交通費や電話代等、必要経費として国が500,000円が支給されている。

問 本町は、公平公正に運用されているのかを問う。
答 本町民生委員児童委員協議会に対し一人当たり59,000円を支給されている。その内、18,200円を全国・府の連合会の分担金の経費として集金している。

問 先の新聞報道により府は市町村の実態を調査し、使用方法について一定の指針を策定している。町民生委員児童委員協議会で活動費が活

一、民生委員・児童委員の活動費

二、東地域の学校跡地の活用

三、小・中学校へのスマートホン等の持込み

動費として使えるよう検討することについて問う。

答 新聞報道等からの質問について、役員会等の中で趣旨を伝える。府の指針も示されることで、協議会の中で協議決定されるかと考える。

東地域の学校跡地の活用

問 旧田尻小学校の地元の考えを踏まえた計画を問う。

答 地元の要望に応え、体育館、ランチルーム、運動場、トイレが利活用されている。校舎の撤去と運動場の使用については引き続き協議を図っていく。

小・中学校へのスマートホン等の持込み

問 府教育庁は今年3月、大阪北部地震を機に、児



旧田尻小学校



森田 則子

持続可能な開発目標

一、SDGsの認識
 一、住み続けられるまちづくり
 一、気象変動への具体的な対策強化

持続可能なまちづくり

気候変動対策

問 SDGsの認識を問う。

答 自治体の果たすべき役割と責任は、益々大きくなると認識している。

問 SDGsを織り込んだ総合計画策定の取組みを問う。

答 H24年～R3年が、現行の計画である。次期策定は、総合戦略と統合し、SDGsの要素を最大限に取り入れ、政策目標を設定したいと考える。

問 持続可能なエネルギーの中でEVを利用した電力確保の考えを問う。

答 防災面での活用などEVは次世代で求められると考える。

問 バスの減便等で、公共交通の乗客減少が考えられるが、移動手段の確保の具体的な対策を問う。

答 地域の多様な主体と連携協力が必要である。より良い交通ネットワークの構築に取り組んでいく。

問 前回質問した、災害時有効な液体ミルクの備蓄の検討状況を問う。

答 保育所等で活用するなど備蓄のリストに加える方向で検討する。

問 Jアラートの試験結果について問う。

答 これまで3回の試験を行った。気象状況等により聞こえにくかった所は、今後実施する中で、データを集め、必要な対策を講じていきたい。

問 前回の質問した、災害時有効な液体ミルクの備蓄の検討状況を問う。

答 保育所等で活用するなど備蓄のリストに加える方向で検討する。

問 聞こえにくい地域には、個別受信機の助成や防災ラジオの配付などの対策を、講じてはどうか。

答 近隣町村等の情報を収集して、検討する。

問 住民を交えた交通問題を考える協議体をとってはどうか。

答 住民の意向を踏まえて方向性を考える会議体を、設けていく必要があると認識している。

一般質問



岡本 ひとし

第三次計画の進ちよく

一、能勢町地域福祉計画の進ちよく
 二、公共施設再編整備

問 子ども・高齢者・生活困難者を地域で支える仕組みが必要だと思われるが。

答 子どもの未来応援センターの開設やCSW配置事業を実施している。

問 具体のスケジュールや審議内容について。

答 今年度数回の推進委員会を開催し住民アンケートを実施し、結果を踏まえて次期計画の策定予定である。

問 新たな委員構成に際し、人権関係3条例を踏まえた中で対応する。

答 新たな委員構成に際し、人権関係3条例を踏まえた中で対応する。

問 第4次地域福祉計画策定のアンケート調査の予定は。

答 20歳以上を対象に1000名を地域差が無いように抽出予定である。

問 旧歌垣小学校再編整備計画において、東地域の福祉拠点施設として検討すべきだと考えるが。

答 公共施設の中核施設をつくるわけで、当然必要な施設と認識している。



旧歌垣小学校再編整備イメージパース

旧歌垣小学校施設の再編

問 さまざまな見地から委員の選出方法も考慮することが望ましい。大阪府では、今年度に入権関係3条例が施行されたが、

問 ショートステイ施設の必要性の認識について。

答 ニーズがあり、町でも議論している。将来的にもスペースの確保は必要だと考えている。

※5…人権関係3条例とは…

<大阪府人権関係3条例>

- ① 人権尊重の社会づくり
- ② 性の多様性の理解の促進
- ③ ヘイトスピーチの解消



伊木 真由子

高齢者の生きがいづくり

問 高齢者が就労を含め通いの場・活躍の場などに社会参加することは生きがいづくりにつながるかと考える。本町の高齢者の社会参加の状況は。

答 介護保険事業計画で行われるニーズ調査では、55.8%の方が生きがいがあると答えている。

問 ニーズ調査では年齢層が高くなるほど、外出する機会が少なくなっている。健康な状態・体力が低下する前から社会参加することが重要ではないか。

答 生きがいづくりと健康には密接な関係があると言われており、早い時期から取り組むことは重要であると考ええる。

一、高齢者の生きがいづくり 二、能勢ファンを増やすには

問 本町では、社会参加の場として様々な事業を行っている。しかし情報が点在して住民にわかりにくい。広報やホームページで情報を集約すれば、住民の社会参加が進むのではないか。

答 事業同士をリンクさせたり、方法は様々あると考えるので検討したい。



能勢ファンを増やすには

問 本町の人口減少の状況は、予想より厳しいと考えるがどうなのか。

答 推計人口がどうなるかわからないが、現状ではなかなか歯止めがかからない状況と思う。

問 今後本町は、人口減少による様々な課題が出てくる。課題解決の方法のひとつとして、本町のポテンシャルである農地を含めた自然環境を活かし、つながりの深い「能勢町を好き」というファンを増やしていくことも必要ではないか。

答 当然必要であると考ええる。



一般質問



中西 顕治

第8期介護保険 事業計画の策定

厚生労働省社会保障審議会介護保険部会で、第8期保険事業計画に向け検討されている利用者負担増などの項目について、本町への影響など見解を問う。

問 利用者負担の2割、3割負担の拡大という項目のような利用者負担増に対する議論は。

答 利用料負担の増大で生活が立ち行かなくなる方も増えることが懸念されるので、町としては賛同しかねると、課長会議等で表明をしている。



問 要介護1、2を総合事業化するという項目に対する見解は。

答 本町では総合事業の担い手がない中では受けがたい。北摂地域の介護担当課長会議でも議論されているが、その場でも、少なくとも北摂7市3町

の間では反対する方向であり、今後、動きがあれば、府や関係団体に要望を行う方向で調整がなされている。

問 ケアマネジャー資格を更新していくために年間何回という講習を受ける必要がある。近隣では自治体で講習会を開催し、介護職員への負担軽減も行われている。本町は支援しているか。

答 現状、支援制度はない。介護職員が必要とする研修や更新の手続などについても交付金を活用できないか検討する。

問 これらの検討項目については、町の財政にも住民にも大きな影響があるので動向を注視する。

答 インセンティブで交付された調整交付金はうまく活用できていない。

問 これらの検討項目については、町の財政にも住民にも大きな影響があるので動向を注視する。



豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 岡本 ひとし

第4回定例会 11月8日開催

豊能町役場大会議室において開催され、一般質問及び以下の議案が審議され、いずれも原案どおり可決認定されました。

議案

議案第7号

令和元年度 豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第2号)

令和元年10月15日に大阪地方裁判所にて判決のあった不当利得返還請求事件の控訴審の着手金(33万円)及び、令和元年8月2日に和解した損害賠償請求事件にかかわる豊能郡環境施設組合が受け取った解決金(5,000万円)を能勢町・豊能町へ償還金として返納するもの。

能勢町	1263万5000円
豊能町	3736万5000円

認定第1号

平成30年度豊能郡環境施設組合一般会計歳入歳出決算の認定

歳入合計	9979万6358円
歳出合計	3406万 980円
歳入歳出差引残額	6573万5378円

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 平 田 要

第3回組合会議(臨時会)11月14日開催

国崎クリーンセンター大会議室において開催され、議長及び副議長選挙が行われ、それぞれ選出されました。引き続き、監査委員の選任について同意案件が上程され、原案どおり同意されました。

議案

- ・議長 多久和 桂子(川西市)
- ・副議長 福井 澄榮 (猪名川町)
- ・監査委員 菅野 英美子(豊能町)

議員総会11月14日開催

臨時会終了後、国崎クリーンセンター大会議室において開催され、以下の事項について報告がありました。

報告事項

国崎クリーンセンター廃棄物処理手数料条例の改定(案)について
(持ち込みごみ手数料に係る料金改定)

北部地区議長会 議員研修会が開催されました

開催日 令和元年11月11日（月）

テーマ 質問力を高める 議会力にいかす

講師 龍谷大学政策学部 教授 土山 希美枝氏

《講演のポイント》

住民のために<政策・制度>をよりよく整備することが自治体の目標であり、議会・町長はそのために種類の異なる権限を与えられた機構であること。その目標達成を实践すべく責任ある政策主体として関わる「政策議会」が必要であり、争点提起と意志形成、町長・行政に対する監査機能と政策提案機能が重要であること。それら機能を充実させるための議員の一般質問の担う性質を解説して頂きました。

一般質問は①政治家であり議会の一員である議員の知見と活動の集約であること、②わがまちの政策課題の争点提起をし、これに対する町長・行政の公式見解を得ることで、執行部への監査機能と政策提案機能を果たすことができる重要なものであると力説され、その他、一般質問の構造的な分析、現場の声を聞きデータを使用する等の説得力の向上、どのように実践すれば効果的か等、具体例を踏まえながら質問力の高め方を解説して頂きました。



※北部地区議長会は島本町・豊能町・能勢町で構成され、議会の円滑な運営と住民福祉の向上を図るため、情報交換や研修事業を行っております。

表紙のごとば

12月12日（木）に第4回能勢中学校けやきマラソンが開催されました。今年度も能勢けやきの里をスタート&ゴールとして実施され、けやきの里から広がる初冬の景色を背景に中学生が力走しました。

一生懸命前へ前へ走る中学生の姿は、沿道で声援をかける保護者の方、地域の方に、元気を届けることができたと思います。地元の方から大根炊きが振舞われ、地域の方も一体となって盛り上がりました。

編集後記

春の到来が待ち遠しい季節となりました。

昨年議会では、予算・決算常任委員会や議会改革特別委員会が設置されました。委員会での協議・審議を重ね、住民の皆さまの声をいっそう反映できるように、議員一同全力で取り組んでまいります。

広報特別委員会では、議会を身近に感じて頂けるよう「用語説明」などのページを設け工夫を重ねております。本年もわかりやすい議会だよりをめざし、努力してまいります。

広報特別委員会

委員長 奥 久明
副委員長 伊木真由子

大平喜代江
平田 要
中植 昭彦

発行／能勢町議会

発行責任者／長尾 義和

編集／広報特別委員会

発行日／令和2年2月1日

〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地

TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460

ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>